

【参考資料】  
抗ヒスタミン剤（第2世代）  
Drug Information

		第1推奨				第2推奨
		オロパタジン	フェキソフェナジン	レボセチリジン (院外処方専用)	ロラタジン (院外処方専用)	ビラスチン (院外処方専用)
効能効果		○アレルギー性鼻炎 ○じん麻疹 ○皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症、尋常性乾癬、多形滲出性紅斑）	○アレルギー性鼻炎 ○蕁麻疹 ○皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、アトピー性皮膚炎）に伴うそう痒	○アレルギー性鼻炎 ○蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症	○アレルギー性鼻炎 ○蕁麻疹 ○皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒	○アレルギー性鼻炎 ○蕁麻疹 ○皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒
用法用量		1回5mg 1日2回 (朝・眠前)	1回60mg 1日2回	1回5mg 1日1回 (10mgまで)	1回10mg 1日1回	1回20mg 1日1回 (空腹時)
1日薬価	最高（先発品）	¥48.6	¥62.0	¥48.9	¥37.5	¥53.2
	最低	¥20.2	¥20.2	¥13.5	¥16.3	—
眠気に注意の記載		あり	なし	あり	なし	なし
肝機能障害の記載		肝機能障害患者 →肝機能障害が悪化するおそれ	なし	肝機能障害患者 →高い血中濃度が持続するおそれ	肝機能障害患者 →血漿中濃度が上昇するおそれ	なし
腎機能障害の記載		腎機能低下患者 (Ccr30mL/min未満) →高い血中濃度が持続するおそれ	なし	重度の腎障害（Ccr10mL/min未満） →禁忌 腎機能低下（Ccr80mL/min未満） →減量	腎機能障害患者 →血漿中濃度が上昇するおそれ	中等度または重度の腎機能障害 →血漿中濃度が上昇するおそれ